

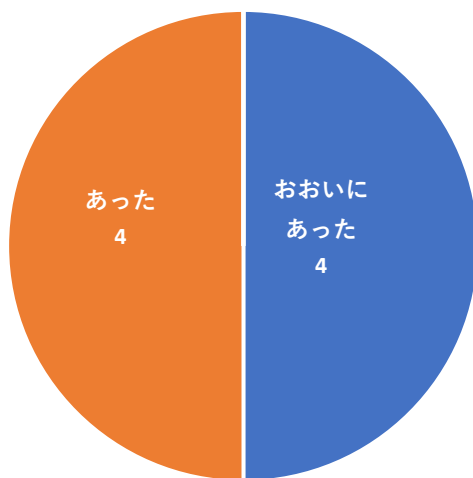
令和8年度

「三豊市保育等施設事業者物価高騰対策支援金支給事業」に係るアンケート調査結果

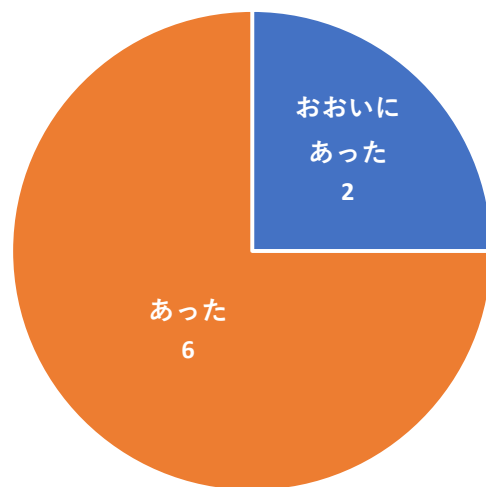
対象者：市内民間保育等施設（事業対象8施設）

1. 「物価高騰対策支援金支給事業」の効果に対する回答について

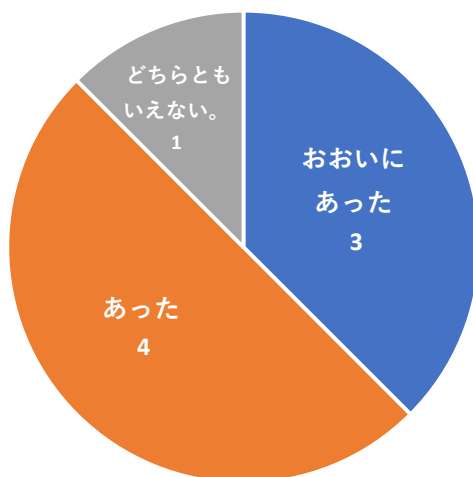
1.令和6年1月支援金の効果



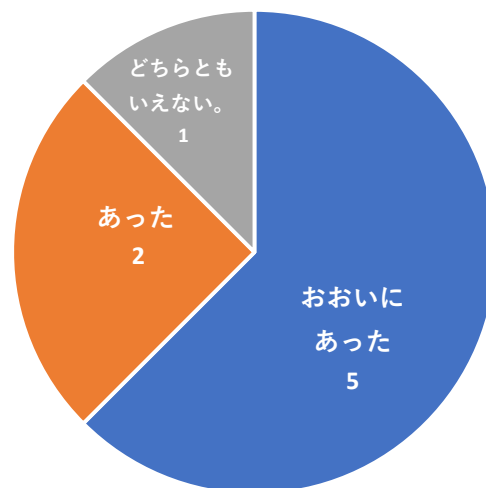
2.令和7年2月支援金の効果



3.令和7年11月支援金の効果

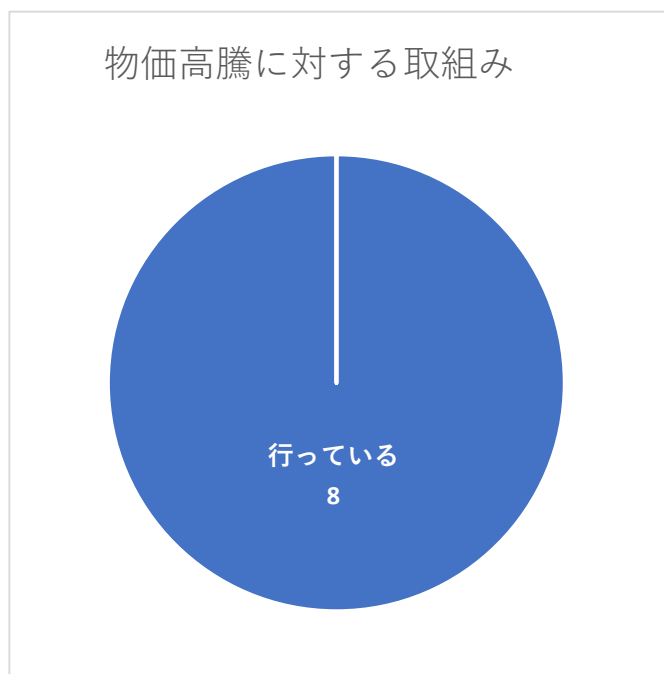


4.令和8年8月支援金の効果



2. 各保育等施設における物価高騰に対する取り組みについて

(1) 前年度の支援金支給事業以降、物価高騰に対して取り組みを行っているかについて



(2) 物価高騰に対する取り組み内容について

- ・ 食材費など、園児に対する直接的な処遇は低下させないように予算検討している。
- ・ 消耗品、給食材料等の仕入れ先を見直し、複数業者での見積比較を行っている。
- ・ 水道光熱費についても使用状況を確認しながら節電・節水を徹底している。
- ・ 消耗品も光熱費も給食費も値上がりばかりなので見直ししている。が、消耗品以外はなかなか難しい部分である。
- ・ 消耗品の使用量を見直したり、使用していない部屋の照明や空調を確認したり、無駄のないように意識しました。また、職員間でも確認をするように心がけました。
- ・ 経費負担を軽減するために、電気・水道等の使用状況を見直すとともに、消耗品、保育用品等についても無駄を減らすように努めている。
- ・ 老朽化しつつある玩具、備品等の見直し・購入

3. 意見・要望等について

- ・ 物価だけでなく、水道光熱費が高騰しているので施設維持費も負担が増している。
- ・ 給食費も光熱費も上がるばかりだが、削ることができない部分は多い。その部分の支援を期待しているが、まだまだ苦しい状況は変わらない。園児や利用者の最善を第一に考えると今後の支援金にはもっと期待したいと願う。

- ・安定した保育を行うためには、物価高騰への支援だけではなく、保育士の人材確保や処遇改善、施設運営に対する公的な支援を充実してほしい。尚、公立保育園だけでなく、私立保育園に対しても同様の支援を行っていただきたい。

三豊市 保育幼稚園課
政策・施設グループ
電話番号：0875-73-3036
FAX : 0875-73-3023
Email hoiku@city.mitoyo.lg.jp